



最新の設備と職人の技術力。
それらを結集してモノづくりに挑む。

伊藤 工作所



伊藤 工作所

長崎県島原市有明町大三東戊1507
TEL/0957-68-2788
FAX/0957-68-2137
HP/https://www.ito-mfg.jp/
MAIL/y-ito@htk.ne.jp

代表者名/伊藤啓博
設立/1985年6月1日
業種/金属製品製造業
従業員数/4名



昭和60年の創業以来、火カプラントの部品を製造している。この部品は高圧・高熱に耐えられる堅い素材をボルトやナットに加工する「難削材加工」の技術が求められるが、この技術を有するのは業界でも数社のみ。当社の技術は誤差がなく、品質が安定していると高評価をいただいている。また旋盤工作機用「チャックフリター」や「ステーキ専用削り出しグリルパン」など自社製品の開発も行っている。

事業のテーマ

高剛性・高精度ターニングセンタ導入による 金属加工生産性向上

事業のきっかけ

熟練の技術もあり、一通りの機械設備が整っているもののIT化、AI化が進んでおらず、生産性向上の阻害要因となっていた。特に改善を要するのは「3DNC機加工」工程の強化。セッティングに時間を要し、アイドルタイムが発生していた。そのため受注が増えても量産できず、対応できなかった。

事業内容・成果

今回導入したのは「高剛性・高精度ターニングセンタNLX2500」。これにより操作パネルはインターネットに接続することで、最新の加工技術情報の入手が可

能となった上、既存の設備とデータをリンクしてプログラムを共有することも可能となった。

懸案であったアイドルタイムに関しても、コンピューターにプログラムをインプットするだけで機械が目盛り等を自動セッティング、金属加工を開始、終了後知らせるため、この間は他の作業を兼務することが可能になる等、1人で2台の機械操作が可能になったことで、解消された。その結果、生産性の向上につなげることができた。

今後の展望

これまで同様に金属加工の技術と生産性を上げていくと共に、今後はBtoCの仕事にも力を入れていきたい。具体的には、新しく導入したレーザーマーカーを使ったオリジナル商品を開発し、企業の創業記念の記念品やイベントのノベルティグッズなど、一般消費者向けにホームページでPRしていく。この分野は未開拓な部分が多く伸びしろがあるため、チャレンジしていきたい。

ものづくり補助金活用

金属加工の作業時間

8時間

▶ 4時間

1人で2台の機械操作が可能になったため、
作業時間が半分になった。